

**製品名: エロンギン A3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10421**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TCEB3C
別名	TCEB3C; TCEB3L2; RNA polymerase II transcription factor SIII subunit A3; Elongin-A3; EloA3; Transcription elongation factor B polypeptide 3C
遺伝子 ID	162699.0
SwissProt ID	Q8NG57
免疫原	抗血清はヒト ELOA3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

**背景**

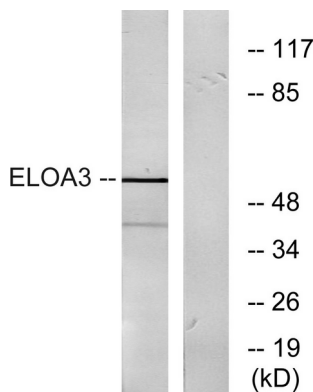
SIII（またはエロンジン）転写伸長因子複合体は、DNA 鋳型上の多くの部位における RNA ポリメラーゼ II の一時的な停止を抑制する

ことで、転写伸長速度を刺激します。この複合体はヘテロ三量体であり、転写活性サブユニット A、A2、または A3（またはエロンジン A、A2、または A3）と、2つの調節サブユニット B および C（またはエロンジン B および C）から構成されます。この遺伝子はサブユニット A3 をコードします。A3 と A は普遍的に発現しますが、A2 は精巢で特異的に発現します。[RefSeq 提供、2010 年 3 月], ドメイン: エロンジン BC 複合体結合ドメインは、コンセンサス配列[APST]-L-x(3)-C-x(3)-[AILV]を有する BC ボックスとしても知られています。機能: SIII はエロンジンとしても知られ、RNA ポリメラーゼ II の転写伸長をテンプレートにコードされた停止部位を越えて促進する一般的な転写伸長因子です。サブユニット A3 は転写活性を有しますが、その転写活性は SIII 調節サブユニット B と C の二量体複合体（エロンジン BC 複合体）への結合によって増強されません。類似性: 1 つの TFIIIS N 末端ドメインを含みます。サブユニット: A (A1、A2、または A3)、B、および C サブユニットのヘテロ三量体。組織特異性: 広く発現しています。、

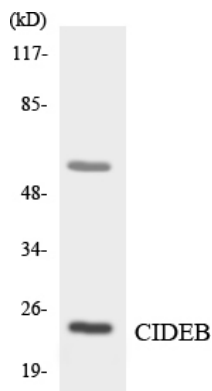
## 研究分野

-

## 画像データ



ELOA3 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



CIDEB 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

Elongin A3 ポリクローナル抗体を使用した COLO205 細胞のウエスタン ブロット分析。

